

平成 29 年 7 月
杉並区立八成小学校
図工専科 伏見 なな子
栗林 三代子

日ごとに日差しも強くなり、木陰の恋しい季節となりました。日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、今年は 11 月 10 日（金）・11 日（土）に展覧会が開催されます。展覧会当日には 1 学期からつくり上げてきた作品や、皆でつくった共同作品を一挙に展示する予定です。そこで、今年の図工室だよりは展覧会特別号と題し、普段の制作の様子を紹介していきます。今回は 2・4・6 年生の様子を紹介します。展覧会当日どんな作品が並ぶのか、楽しみにしててくださいね！

■2 年 見て見ておはなし（絵や立体に表す活動）

エリック・カール氏の「やどかりのおひっこし」のお話を、海の中の様子ややどかりを想像しながら聞いて、描きたい場面を絵に表していきました。

まず初めに、貝ややどかりをイメージしながらローラーで色を重ねてオリジナルの柄を制作しました。

それから貝ややどかりを作っていました。

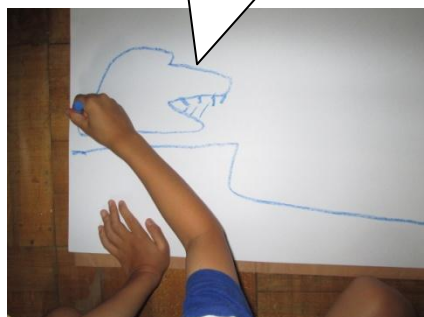
ローラーで色を重ねていったら不思議な模様になってきたよ



どんな海にしようかな？



海の中にはなにがいるかな？
そうだ！大きなさかなから描こうと！



ぼくのやどかりだよ。クレヨンで、もようもつけたよ。



次に描きたい場面をクレヨンで線描きし、絵の具で色を付けていきました。

海の中の様子を想像して生きものを描いたり、どんな色をどんなふうに塗るかを考えたりしながら、丁寧に塗っていました。



やどかりはどこにしようかな？



海の中の雰囲気を出すにはどんなふうに塗っていこうかな？



塗り残しがないように丁寧に塗っていくぞ！



やどかりにのりをつけて、もうすぐ仕上がるぞ！



最後にやどかりを貼って仕上がりです。
いろいろなやどかりが海の中でおひっこしをしていますよ。

■4年 わが城へようこそ（絵や立体に表す活動）

世界には様々なタイプの城があります。水の上に浮かんでいるように見える城、石を積んでできた城、模様で埋め尽くされた宮殿…では、もし自分が城をつくとしたら、どんな城にする？テーマを決めてデザインを考えた後、クレヨンで下書きし、水彩絵の具で彩色しました。絵の具を使う前には混色について学び、レンガや模様をひとつずつ丁寧に塗っていきました。



私のテーマはトランプ！
この色とこの色を混ぜると
どんな色になるかな…
友達がつくった色も気になるなあ。



僕のテーマはパンの城！
美味しそうに塗った後は、ク
レヨンで仕上げ。

最後はお城をツヤツヤニスで
コーティング。



クッキーちゃんのファミリーが
どんどん増えていきます！



クギがまっすぐ入るよう、指で
しっかりと垂直に支えます。

■ハロー！クッキー！（絵や立体に表す活動）

木と釘だけでつくったキャラクター、それがクッキーちゃんです。手足を付けたり、猫耳を付けたり、クッキーちゃんの乗り物をつくったり…たくさん釘を打つうちに、お気に入りのキャラクターができあがりましたよ。

しっかり体重をかけて木を
押さえ、ギコギコと切ってい
きます！

切った木材の組み合わせ
方を考えています。

■4年 ビーンズパレード（工作に表す活動）

舞台はお豆たちが暮らす、ビーンズタウン。町をあげて開催されるパレードに、町に住むお豆たちも車をつくって参加することになりました。

材料は、薄い板や角材、丸い棒などの様々な木材とクギです。配られた木材を見ながらどんなテーマの車にするかアイデアを膨らませ、のこぎりで切っては組み立てていきました。
「ここはキッチン、ここは滑り台…」と、お豆たちの目線になって考えながら、楽しい車をつくりあげました。



万力やクランプなど、木材を
押さえるための道具も使える
ようになりました！



後日、学校HPにもカラーの図工室だよりを掲載しますので、
ぜひご覧ください。

■6年 物語のある木（絵や立体に表す活動）

「モチモチの木」「ジャックと豆の木」「となりのトトロ」…など、「木」にまつわる昔話やストーリーは全世界にたくさんあります。それは、人間にとって木は生活に欠かせない大切なものだからです。そんな「物語に出てくるような神秘的な木」を描くことをテーマに、木炭を使った空想画を描きました。

初めに、木の生命を感じたり枝のつき方を学んだりするために、校庭の木をスケッチしました。



木の枝の分かれ方をよく見て描きます。

スケッチにも、作品で使う予定の木炭と練ゴムという道具を使います。



枝の曲がり方や重なりを観察して描いています。

6-3 I. E

背景をどんどん黒くしています！



さらに宿題で、どんな神秘的な木を描くかテーマとアイディアスケッチを考えてきました。木にまつわるストーリーを詳しく考えてきた人も多くいました。話を膨らませて、いよいよ本番に入ります。

木炭専用の紙に、木炭を寝かせてグイグイ背景の色をのせていきます。空想の木なので、木の形状はリアルな木を離れて、それぞれのテーマに合わせた自由なものになっていきます。ガーゼでこすったり、暗い背景の木炭を練ゴムで消し取って白い線を描いたり…白と黒の中だけで、メリハリをつけて描きました。

ぼくは雷の木がテーマ。
中央にある宝石から、イナズマ型の枝がグングン伸びていくよ。

細くしたヒモをつみあげていて、表面を滑らかに整えてあげて…美しいつぼ型になりました。

白っぽい、ぼんやりした背景に真っ黒な木の枝を描いていきます。他のクラスの児童が鑑賞したとき、「木の枝が細かくかけている」「濃淡を使い分けている」「すこし物悲しい感じが伝わる」といった感想をもらっていました。



パン屋さんのようにのし棒を転がして、粘土を平らに広げていきます。

■6年 花器をつくる（絵や立体に表す活動）

今回の陶芸は、花を生けるための「花器」がテーマです。あらかじめ、つくりたい花器のデザインを考えてきました。実際に陶芸粘土に触てみると、重くてしっとりとした質感に悪戦苦闘！以前土器づくりで使った「ひも作り」の方法や、粘土を平らの板状にする「たたら作り」の技法から、自分のアイディアに合う技を使いました。個性的で、ユニークなデザインの花器がたくさん誕生しました！



2学期にある展覧会では、花器に花を生けて展示する予定です。お楽しみに！

■6年 わたしのいす（工作に表す活動）

6年間の木工工作の集大成として、椅子作りに挑戦！ルールは、「①テーマを決めてオリジナルのデザインにすること」「②座るための椅子でなくてもいいが、頑丈であること」です。基本の作り方を参考にして、組み立ての仕方は自分の力で考えて作らなければいけません。

初回のアイディアスケッチの段階から、それはもう個性的でユーモラスなデザインがいっぱい。そのアイディアを実現するために、限られた木材をいかに使うか？頑丈にするためにはどんな工夫をしたらよいか？などなど、たくさんの課題を乗り越えて、世界にひとつだけのオリジナルの椅子ができあがりました。展示を楽しみにしていってくださいね。



5分の1サイズの模型をつくることで、ベニヤ板と角材の使い方を考えます。足りるかな…座れるかな…

GOサインが出たら、模型を5倍のサイズにしてベニヤ板に下書きします。



さすが6年生、のこぎりは慣れたものです。安全の決まりもしっかり守れました。

慎重に、慎重に…曲がらないよう気を付けて電動系のこぎりで切っていきます。



クギを打つ時は、友達の助けを借り、ガッチリ押さえてもらいます。

組み立てができたら、さあ色塗り！色を塗ると、テーマが分かりやすくなりますねー。



上からは見えにくい部分まで、丁寧に丁寧に。

仕上げにニス塗ってツヤツヤにし、作品を保護します。

